

長野農業農村支援センター

1 長野地域の農業施策体系

～ 人と人がつながり力強く未来へ躍進する長野農業 ～

【長野地域のめざす姿】

◇地域の基幹的作物である果樹を中心に、新規就農者の参入などにより担い手が確保され、皆が活躍しています。

◇省力化栽培方式、県オリジナル品種の導入が拡大し、全国トップクラスの果樹産地“ながの”が発展しています。

◇立地条件を生かした野菜、花き、穀物など多様な農畜産物が、環境にやさしい農業や地域の条件に適したスマート農業技術により生産されています。

◇地域住民と移住者の協働により農村を支える体制が構築され、さらに自治会や社会福祉協議会などとの連携が進み、農村の集落機能や自治機能が維持されています。

◇農産物直売所を中心とした地域内消費が拡大し、長野地域で守り育てた「食」が継承されています。

1 長野地域の農業を支える多様な担い手の確保・育成

- (1) 長野地域の農業をけん引する強く柔軟な経営体を育成
- (2) 新規就農者の安定確保と技術力・経営力の向上を支援
- (3) 多様な人材による支え手の確保を支援

2 全国トップクラスの果樹産地づくり

- (1) 適地への省力化栽培技術導入や改植等によるりんご・ももの産地力向上を支援
- (2) 県オリジナル品種等の戦略的導入とハウス・冷蔵庫の整備によるぶどう産地の発展を支援
- (3) 担い手への優良農地の利用集積や樹園地継承を促進

3 長野地域の特色を生かした農畜産物の安定生産

- (1) ピーマン等軽量野菜の生産拡大と品質向上を支援
- (2) 環境にやさしい農業を推進
- (3) 品目や地域の条件に適したスマート農業技術の普及を推進

4 多様な人材で支え、皆で取組む農村づくり

- (1) 地域住民と農村移住者の協働や関係人口との連携による地域農業への理解を促進
- (2) 農村型地域運営組織(農村RMO)の構築による農村コミュニティの維持を推進
- (3) 野生鳥獣から農作物を守る地域ぐるみの取組を支援

5 いつまでも安心して暮らせる農村づくり

- (1) 千曲川沿いの排水機場ポンプ設備の更新・増強を推進
- (2) 防災重点農業用ため池の地震・豪雨耐性評価と防災工事を実施

6 長野地域で守り育てる食の継承

- (1) 農産物直売所の販売力強化及び農産物加工組織の活性化を支援
- (2) 伝統野菜、そば、郷土食など長野地域で守り育てた食の継承を支援
- (3) 「農」と「食」をつなぐ関係機関と連携した食育活動を推進
- (4) 消費者の関心の高い「食」・「安全」・「環境」に配慮した食づくりを推進

第3 農業の概況

1 農業の概況

管内の耕地は標高330mから1,100mに位置し、標高差を巧みに活かし、適地適作による産地化が図られ、全域にわたって多様な農業が展開されている。

農家戸数は19,108戸(2020年農林業センサス)で、このうち販売農家8,337戸(43.6%)、自給的農家10,771戸(56.4%)である。これは、全県の構成比と比べ販売農家で1.5%低く、自給的農家で1.5%高い。また、基幹的農業従事者は15～39歳が2.5%、40～64歳が19.8%、65歳以上が77.7%であり、全県と比べ65歳以上の割合が高い。

耕地面積(令和5年2月)は16,678haで、内訳は、田5,479ha(32.9%)、畑11,200ha(67.2%)であり、農家一戸当たりの耕地面積は、87.3a(県平均117.2a)である。

令和3年の農産物産出額(地域振興局推計)は、471億円で、構成比は果樹が47.6%、以下きのこ20.4%、野菜15.2%、水稻8.9%、畜産3.4%、花き1.6%の順となり、全県の構成比と比較して果樹の割合が高い。

(1) 農家戸数、農業就業人口等

ア 農家戸数、農業従事者数及び基幹的農業従事者数

(単位：戸、%、人)

市町村	区分	農家戸数			農業従事者数	基幹的農業従事者
		総戸数	販売農家	自給的農家		
長野市		9,902	3,824	6,078	9,707	5,871
須坂市		1,873	1,188	685	2,918	1,905
千曲市		2,834	909	1,925	2,271	1,198
坂城町		772	243	529	571	335
小布施町		758	565	193	1,444	971
高山村		670	413	257	986	569
信濃町		674	345	329	838	430
飯綱町		1,242	773	469	1,973	1,101
小川村		383	77	306	178	107
計		19,108	8,337	10,771	20,886	12,487
構成比		100	44	56.4		
県対比		21.3	20.6	21.9	20.3	22.5
参	長野県	89,786	40,510	49,276	102,706	55,516
考	構成比	100	45.1	54.9		

(出典) 2020年農林業センサス

- (注) 1 農業従事者数は、農業就業人口のうちふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数
 2 基幹的農業従事者は、農業に主として従事した世帯員(農業就業人口)のうち1年間のふだんの主な状態が農業に従事していた者

イ 農家戸数の推移

(単位:戸、%)

		平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	県 (令和2年)
総農家数		26,695 (100)	24,943 (100)	22,144 (100)	19,108 (100)	89,786 (100)
販売 農家	専業農家	3,634 (13.6)	3,831 (15.4)	3,866 (17.5)	8,337 (43.6)	40,510 (45.1)
	第1種 兼業農家	2,333 (8.7)	1,778 (7.1)	1,249 (5.6)		
	第2種 兼業農家	8,410 (31.5)	6,935 (27.8)	5,430 (24.5)		
自給的農家		12,318 (46.1)	2,399 (49.7)	11,599 (52.4)	10,771 (56.4)	49,276 (54.9)

(出典) 農林業センサス (2005年、2010年、2015年、2020年)

*専業・兼業別分類は2020年農林業センサス以降調査項目が廃止

ウ 基幹的農業従事者の年齢構成比

(単位:人、%)

区分		15～39歳		40～64歳		65歳以上		計	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
市町村									
長野市		118	2.0	1,045	17.8	4,708	80.2	5,871	100.0
須坂市		65	3.4	456	23.9	1,384	72.7	1,905	100.0
千曲市		21	1.8	205	17.1	972	81.1	1,198	100.0
坂城町		10	3.0	74	22.1	251	74.9	335	100.0
小布施町		29	3.0	282	29.0	660	68.0	971	100.0
高山村		18	3.2	127	22.3	424	74.5	569	100.0
信濃町		18	4.2	72	16.7	340	79.1	430	100.0
飯綱町		28	2.5	202	18.3	871	79.1	1,101	100.0
小川村		0	0.0	14	13.1	93	86.9	107	100.0
計		307	2.5	2,477	19.8	9,703	77.7	12,487	100.0
参 考	長野県	2,267	4.1	12,454	22.4	40,795	73.5	55,516	100.0
	県対比	13.5		19.9		23.8		22.5	

(出典) 2020年農林業センサス

(2) 耕地面積

区分 市町村名	耕地面積	田	本地面積	畑	農家 1戸当たり 耕地面積	
			(ha)			(a)
長野市	7,980	2,240	2,030	5,740	80.6	
須坂市	1,710	227	215	1,480	91.3	
千曲市	1,540	811	776	728	54.3	
坂城町	509	179	163	330	65.9	
小布施町	788	157	153	631	104.0	
高山村	634	131	114	503	94.6	
信濃町	1,490	930	806	564	221.1	
飯綱町	1,740	733	625	1,000	140.1	
小川村	287	71	57	224	74.9	
計	16,678	5,479	4,939	11,200	87.3	
構成比	100.0	49.1	29.6	67.2	100.0	
県対比	15.9	10.6	10.9	21.0	74.5	
参考	長野県	105,200	51,700	45,300	53,400	117.2
	構成比	100.0	49.1	43.1	50.8	100.0

(出典) 農林水産省「耕地及び作付面積統計(令和5年2月27日公表)」

(注) 1 農家1戸当たり耕地面積は、2020年農林業センサス(確定値)

2 端数処理のため、計とその内訳は一致しない。

(3) 農産物産出額

ア 令和3年農産物産出額（地域振興局推計）

(ア) 農産物全体

項 目 作 物		作付延べ面積	産 出 額			
			金 額	前年比	構成比	県対比
農 畜 産 物	米 穀 類	(ha) 4,602	(億円) 44	(%) 92	(%) 9.3	(%) 10.4
	果 樹	5,816	224	95	47.6	36.8
	野 菜	1,884	72	99	15.3	9.0
	花 き	40	7	114	1.5	5.6
	き の こ	—	96	110	20.4	20.5
	畜 産	—	16	100	3.4	5.3
	そ の 他	—	12	120	2.5	17.4
計		—	471	99	100.0	16.7

(イ) 主要果樹

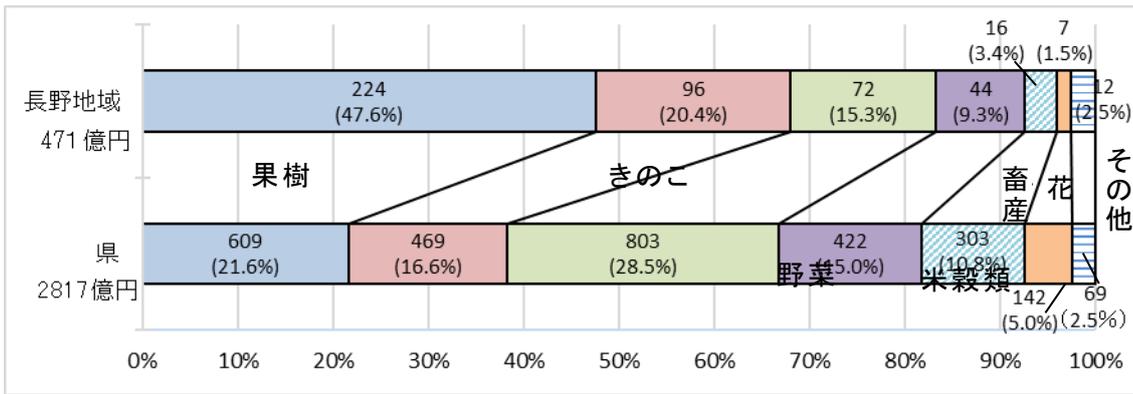
項 目 作 物		作付延べ面積	産 出 額			
			金 額	前年比	構成比	県対比
果 樹	り ん ご	(ha) 3,650	(億円) 94	(%) 83	(%) 42.0	(%) 42.5
	ぶ ど う	1,025	98	102	43.8	36.4
	な し	87	3	75	1.3	7.1
	も も	511	24	141	10.7	52.2
	その他果樹	543	5	125	2.2	16.7
計		5,816	224	95	100.0	36.8

- (注) 1 産出額は農林水産省公表農林水産統計の県農業産出額に基づく地域振興局推計値である。
 （平成19年産から市町村別の作物別作付け延べ面積、生産量、産出額は国において調査されなくなったことによる。）
- 2 端数処理のため、計とその内訳と一致しない場合がある。

イ 令和3年農産物産出額割合の比較

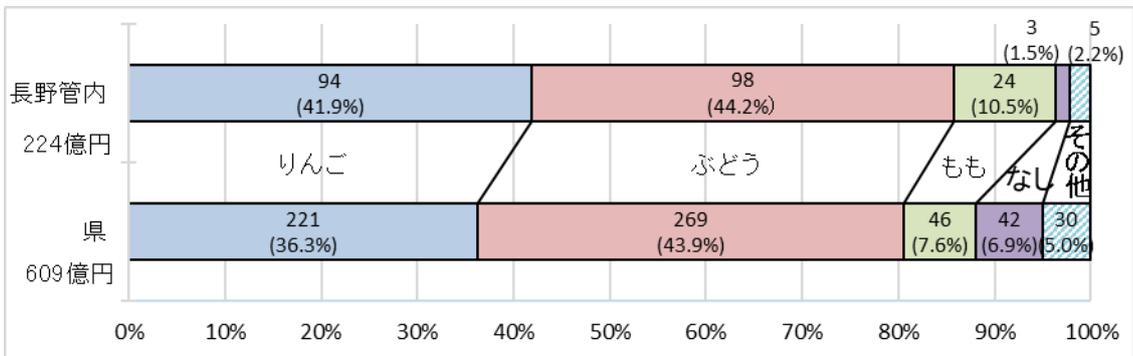
(ア) 農産物全体

(単位:億円)



(イ) 主要果樹

(単位:億円)



(4) 農業団体の状況

(令和4年4月1日現在)

区分	農業委員会	総合協	専門協	農事組合法人	農業共済組合	漁業協同組合
団体数	9	2	8	22	1	7

(5) 耕作放棄地対策の取組

ア 「令和4年 確保すべき農用地等の面積の目標の達成状況」 調査結果

(令和4年12月末現在) (単位:ha)

区分	荒廃農地面積計			再生利用された面積
	再生利用が可能な荒廃農地	再生利用が困難と見込まれる荒廃農地		
長野管内	3,189	323	2,866	52.3
農振農用地区域内	1,577	268	1,309	

(注) 端数処理のため、計とその内訳が一致しない場合がある。

(6) 野生鳥獣による農作物被害額の推移

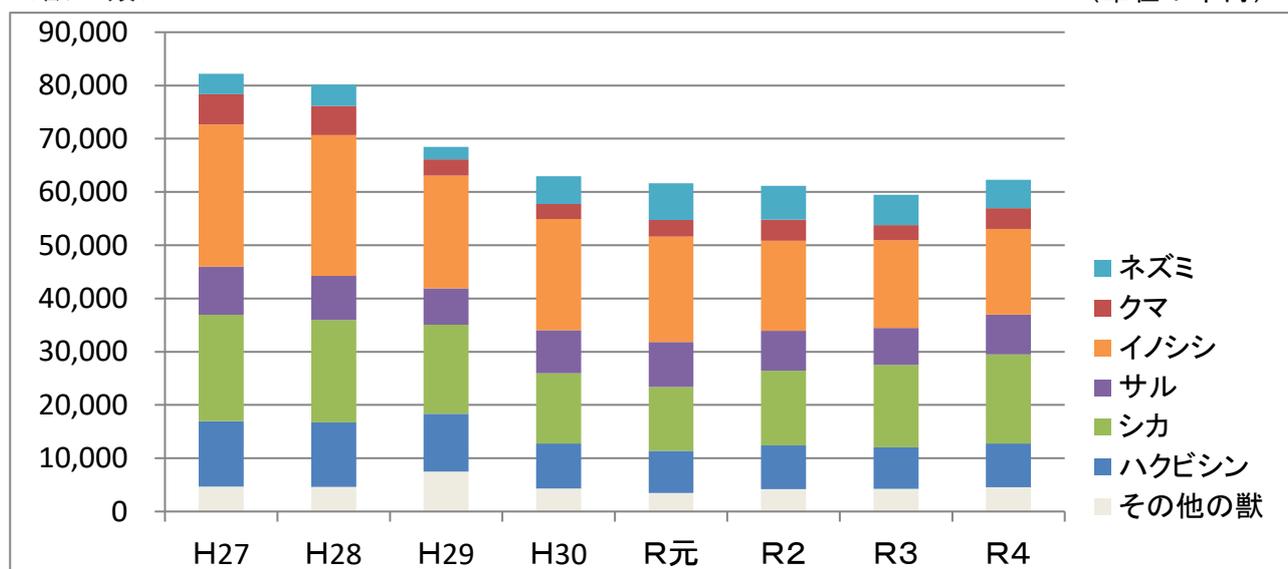
(単位:千円、%)

区分		年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R4 構成比
鳥類	スズメ		5,183	5,366	4,921	3,999	4,391	4,877	4,787	4,372	4.5
	カラス		17,802	17,479	18,265	21,128	21,513	22,134	20,885	20,697	21.2
	ムクドリ		4,528	4,632	3,751	2,799	3,804	4,849	4,430	4,449	4.6
	その他		6,146	5,249	4,498	4,644	5,448	6,329	5,606	5,842	6.0
	小計		33,659	32,726	31,435	32,570	35,156	38,189	35,708	35,360	36.2
獣類	ネズミ		3,838	4,046	2,327	5,214	6,928	6,366	5,698	5,313	5.4
	クマ		5,688	5,433	3,053	2,817	3,106	3,930	2,814	3,922	4.0
	イノシシ		26,725	26,422	21,170	20,856	19,789	16,933	16,455	16,050	16.4
	サル		9,047	8,273	6,872	8,092	8,472	7,473	6,985	7,496	7.7
	シカ		19,945	19,279	16,684	13,225	11,998	14,052	15,458	16,752	17.2
	ハクビシン		12,279	12,111	10,862	8,433	7,858	8,232	7,773	8,193	8.4
	その他		4,686	4,610	7,511	4,323	3,508	4,171	4,284	4,562	4.7
	小計		82,208	80,173	68,479	62,960	61,660	61,157	59,467	62,288	63.8
合計		115,867	112,899	99,914	95,530	96,816	99,346	95,175	97,648	100	

(注) 端数処理のため、計とその内訳は一致しない場合がある。

< 獣 類 >

(単位:千円)



< 鳥 類 >

(単位:千円)

